

登録コード	MA003200	開講年度	2026				
授業科目名	人工内耳特論					担当教員	工 穰
英文授業名	Special Lectures on Cochlear Implant					副担当	吉村 豪兼
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	不定期		対象専攻 / 学年
講義室				授業形態	講義	授業科目区分	
信大コンベンション	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科						
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。					人工内耳医療に必要な解剖や疾患の知識を習得する	
(2)授業の概要	聴覚・前庭器官の解剖や疾患について解説する。補聴器や人工聴覚機器（人工内耳，残存聴力活用型人工内耳（EAS），人工中耳，骨導インプラント）の構造と原理について説明し，調整，評価，（リ）ハビリテーションについて講義を行い，補聴援助システムについても紹介する。それぞれ，近年の研究やトピックを取り入れて講義する。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	聴覚や前庭器官についての知識を得て，聴覚障害児・者の病態について理解する。その上で適切な補聴方法や介入方法についての知識を深める。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	個々の聴覚障害児者の病態を把握し，適切な補聴を提案できる。評価や調整の方法について説明できる。						
(5)授業計画	・耳の解剖・疾患 ・難聴／遺伝子 ・画像診断 ・聴覚検査（概論） ・補聴器・人工中耳 ・人工内耳（手術，インプラント，プロセッサ） ・人工内耳（マッピング） ・EASと補聴援助システム ・補聴器機の装用指導と装用効果の評価 ・（リ）ハビリテーション ・前庭の解剖と疾患 ・前庭機能検査						
(6)授業の進め方	講義形式で行う。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	復習が必要な場合は，適宜講義中に示す。						
(8)成績評価の方法	・授業ごとの小テストまたは課題で評価する。 ・達成目標への到達については最終試験または最終レポートで評価する。						
(9)成績評価の基準	聴覚障害の病態を把握する力，適切な補聴方法を提案する力，補聴の評価や調整をする力などを測る試験で60点を取れば可とする。 なお，成績評価の基準は90 - 100点：秀 80 - 89点：優 70 - 79点：良 60 - 69点：可とする。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	各回の授業に対して予習・復習を行ってこること。自主学習も行うこと。 副担当者：権田綾子（言語聴覚士）						
【テキスト，教材，参考書】							